

4月8日の教育長面談報告

《街ぐるみで 子どもの育ちを支えたい♪》

メモ1...各自自己紹介

「小さなイエナ」の保護者、居場所「リビング」参加者、「こんな」サポーター、山田4名の参加。

最初に船橋教育長よりお話。

『学びの多様化学校』開校に向け、大阪に日帰り視察。「既存の学校とは違う、全く新しいものを創るくらいの気持ちで取り組まなければならないと思いました。また図書館や公民館など市の施設が不登校の子どもたちが安心して過ごせる居場所になってほしい」とのこと。

新しい教育長の強い思い、覚悟を感じました。

《出席者からの声》

不登校の保護者の孤独感はとても辛い。子どもが不登校になった時、保護者同士の横のつながりや、他の保護者はどうしているのか等の情報が全くなくて、全て自分で探さないといけない状況だった。

もう少し情報提供やつながる場があると嬉しい。

3月24日に教育委員会主催の初めての「不登校について語る保護者の集い」が開かれたが、知ったのが遅く参加できず残念だった。

《要望》「保護者の集い」の告知が直前だったのと周知が限られていたため、参加人数が少なかった。

防災や給食の情報と同じように、「キッズビュー」で配信していただくと、より多くの方に告知できるので次回からはお願いしたい。

教育長から「当事者の声を聞く機会が必要だと思っている」と仰って頂きました。

.....

メモ2...新しいリーフレットについて♡不登校の子どもがいつでも繋がれるように「メタバースの世界で出会おう♪」

4月7日孫が不登校の友人から相談あり。明日中学の入学式に出られるかどうか...「1日だけでも行ってみたら」と言ってよいのか、そんなプレッシャーを与えない方がよいのか迷っている。他にも「子どもが外に出られない」「ゲームばかりしていて心配」との相談を受けているので、on-lineの世界なら繋がれるかもしれないので、まずはメタバースの世界にアバターとして一步踏み出してほしい。そして次にリアルな世界で会えるようにとリーフレット*の説明をした。

《要望》学校の担任や教室とオンラインで繋がるのではなく、教育委員会に on line 担当チームを創り、市内の全ての子どもが繋がれるようにしてほしい。担任の負担軽減にもなるのではないか。

《教育長から》コロナで休校中の取り組みについて説明あり。「on line での学習、ドリルなどをした。やはり基礎的な教科学習は大事だと思う。」

《提案》on line 上には英語を学ぶ Duolingo や算数ゲーム Prodigy(これだけで英語と算数の力をつけた子どもがいる)など面白い教材が多い。計画的に学ぶことで、出席扱いにして貰えないか。

メモ3...市の新しい取り組みについて

♡「学びの多様化学校」

《要望》「まずは中学生から」とのことだが、できるだけ早く小学生も通えるようにしてほしい。学校に通えないことで自分はダメだと思ってしまう。安心して過ごせる自分に合った学びの場を選択できれば、自己肯定感も高まると思う。

♡「特別支援学校」

♡「コミュニティスクール」

2000年代初めに金子郁容氏の講演を聞いてから20年が経ち、浦安にもできると知り期待している。

メモ4...

要望①不登校の全ての子どもたちが繋がれる場を！⇒⇒オンラインで集える場所を用意してほしい。

要望②市民大学とのコラボ企画ができないか？

♡子どもの育ちを支える大人の育成→多世代交流のコミュニティづくり

《要望》市民大学は「まちづくりの担い手を育てる」という目的で生まれたと聞くと、「子どもの育ちを支える担い手を育てる講座」を希望する。「不登校の現状や課題」「不登校の子どもへの寄り添い方」など、子どもが一人で行ける場所、図書館や児童館、公民館などの職員も不登校について理解してほしい。以前フリースクールの子どもたちを連れて児童館に行った時、それまでウェルカムな雰囲気でも迎えてくれたのに、職員が変わって(何故こんな時間に小学生来るの?)という対応をされたことがある。子どもは敏感なので、もうそこには行かなくなる。せっかくの居場所も周囲の大人の対応次第で居辛くなる。是非市民や職員向けにも、市民大学が子どもの育ちを支えるための学びの場になってほしい。

《提案》市民大学とフリースクールのコラボができないか？

市民大学が入っている「まちづくり活動プラザ」でフリースクールを開いているが、校庭に何年も利用されていない畑がある。何年か前にそこを耕して野菜をつくろう！と子どもたちとプレゼン資料を作った。市民大学の窓口を通じて畑を使わせてほしいとお願いしたが、その時はダメだった。

今は市内に田圃や畑がないが、昔は浦安は米作りが盛んだった。子どもたちが自分で開墾して野菜を育てることで学ぶことは多い。市民大学や近所の住民で手伝ってくれる人もいるかもしれない。子どもたちがより広い人間関係を築くためにも、**畑が多世代交流の場になれば**と期待している。

《資料》農園を創ろう♪ 「まちプラの畑で野菜をつくろう！」

メモ5 紹介したい方 亀田 徹さん(LITALICO*顧問) 金子あかねさん、純一さん(ビーンズネット*主宰)
*子どもの成長をサポートする発達支援専門会社。発達障がいやボーダーの子どもの学習計画立案も。

*ビーンズネット、自身の子どもの不登校をきっかけに不登校の親子を支援する活動を始める。

《提案》浦教研などで、不登校についての講演などを聴く機会を設けて頂きたい。

《出席者の感想》

教育長も画一的な教育からの転換が必要な時期であるとの認識を持ってらっしゃると感じました。でも現状を変えるのは時間がかかりますね。浦教研などの機会に、多様性を受け入れるってこれからの時代当たり前のマインド、それぞれの良いところを伸ばす言葉がけ、今までの常識の上書きをして、これからの子ども、青少年、大人（親、教師）の心を守ってほしいと思いました。

.....

『学びの多様化学校』立ち上げを、覚悟を持って取り組む船橋教育長の姿勢がとてもよく伝わり、少し希望を持ってました。

1つ思ったのは、校長の権限で学校を変えようとする、学校ごとにその校長の在職期間によって偏りが出してしまうので、市内すべての学校が「浦安の子ども、浦安の先生」のようになってほしいです。

.....

教育機会確保法に「学校外の学びを認めることと同時に、学校を魅力的な学びの場にする」と謳われていますが、本当に両方必要だと改めて思いました。

『学びの多様化学校』は公立のもう一つの学校、ってことはオルタナティブスクールって言えそうです。子どもがビックリするくらい♥思いっきり楽しい学びの場にしてほしい。

『特別支援学校』を困難を抱える子どもたちの親が長年求めてきました。期待してはガッカリしたことが何度かあり、とうとう実現することに。浦安の共生の教育のモデルになることを期待しています。

「コミュニティスクール」になることで、地域の学校毎の個性が出て、学びの多様化に繋がりそうな予感がします。どんな人が「学校運営協議会」に参加できるのか、任命するのは誰か気になります。

教育長就任 1 週間という超多忙な時に面談の時間を取って頂いたことに感謝しています。

これからも私たち親や市民の声を届けていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします